

「神に栄光を帰せよ」 ①

黙示録 14:6-12 の三天使の使命は全世界のすべての人に伝えなければならない最も大事な厳粛なメッセージである。そして急を要するメッセージであり、警告であり、永遠の福音である。

第三天使の使命の「神を畏れよ」については学んだ。

- ・今日は第一天使の使命の二番目のこと、「神に栄光を帰せよ」について学ぶ。
- ・栄光とは、グローリー、威厳、栄光、ほまれ、崇める、賛美の意味

I. 神を畏れ、神にのみ栄光を帰す理由：

1. 神の裁きの時が来たからである。

使徒 17:30 神は、このような無知の時代を、これまでは見過ごしにされていたが、今はどこにおる人でも、みな悔い改めなければならないことを命じておられる。

神は、義をもってこの世界をさばくためその日を定め、お選びになったかたによってそれをなし遂げようとされている。

黙示録 14:7 「神のさばきの時が来たからである」我々は神の裁きの時に住んでいる。いつから神のさばきが始まったかという研究は、後日にまわす。

この三天使の使命は、世界の終末にすべての人に伝え知らされなければならない最後の使命である。全人類の永遠の運命が決定される時に我々は住んでいる。14 節以降を見るとキリスト再臨に人々を備える使命であることが分かる。

神を知らない、神を畏れない、天地万物の創造主に栄光を帰そうとしない人類に対する最後の呼びかけである。

この使命の背景を見よう：

黙示録 14 章は、13 章の続きである。13 章を見ると恐るべきことが書いてある。全世界の人々は「海から上ってきたひょうのような獣」を拝むことが描写されている。強制されるのである。黙示録 13:3 ; 4 節を見ると「龍を拝み」「獣を拝む」とあるから、神と正反対の勢力であることは誰でもわかる。黙示録 12 に龍とはサタン、悪魔と定義されているので、この獣はいったい何者だろうか。

ダニエル書 7 章では世界歴史に登場した帝国は「獣」で象徴されている。バビロンから始まって、覇権はペルシャに移る。そして次にギリシャ帝国からローマ帝国へと移る。ローマ帝国が滅びて紀元 538 年にローマ・法王教=カトリック教会が出現する。これは今日のバチカンである。

黙示録 13 章の海から上って来る獣は、過去の世界帝国すべての特徴を引き継ぐローマ・カトリック=バチカンである。かつて中世時代に 1260 年もヨーロッパを支配したローマ・カトリックは今度は世界を支配するという預言である。

黙示録 13 : 11 からもう一つの獣が出てくる。「他の獣」すなわち「小羊のような角を持った獣」である。これは結論から言うとプロテスタント・アメリカである。12 節にはそのプロテスタント・アメリカが「先の獣」、すなわちローマ・カトリック=バチカンを拝ませるといっているのである。14 節を見ると「地にすむ人々を惑わす」とある。「先の獣の像」であるから、ローマ・カトリック=バチカンと同じことを強制するといっているのである。再びローマ・カトリック=バチカンが世界を支配するようになるとき、「新世界秩序」が出来上がる。

新世界秩序が出来上がると自由はない。ローマ法王を拝み、全世界の人々がローマ法王に栄光を帰すことになる。黙示録 18 章を見るとローマ・カトリック=バチカンは世界のあらゆる宗教を包含し、宗教大連合、世界宗教を作り上げる。

その時、ただ創造主のみを礼拝し、神にのみ栄光を帰すか、人間法王の権威に従うか、すべての人が決定しなければならない。良心の自由はなくなる。恐ろしい出来事である。

その時、「大声で」この三天使の使命が全世界に叫ばれる。「神をおそれ、神に栄光を帰せよ」との叫びがなされる。このサタンの権力との対決はまじかに迫っている。

その前に今、自由が与えられている恩恵期間の間に人間でなく、人間の権力でなく、創造主のみを畏れ、神に栄光を帰すことを知っていなければならない。

我々の礼拝すべきお方はどんな神であろうか？

2. 万物の創造主だから！

① そのみ力の偉大さの故に

詩篇 19:1 もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす

黙示録 14:7 大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」。

ローマ 1:19-22: なぜなら、神について知りうる事がらは、彼らには明らかであり、神がそれを彼らに明らかにされたのである。神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性とは、天地創造このかた、被造物において知られていて、明らかに認められるからである。したがって、彼らには弁解の余地がない。なぜなら、彼らは神を知っていながら、神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからである。彼らは自ら知者と称しながら、愚かになり、不朽の神の栄光を変えて、朽ちる人間や鳥や獣や這うものの像に似せたのである。

ゆえに、神は、彼らが心の欲情にかられ、自分のからだを互にはずかしめて、汚すままに任せられた。彼らは神の真理を変えて虚偽とし、創造者の代りに被造物を拝み、これに仕えた(これに栄光を帰した)のである。創造者こそ永遠にほむべきものである、アアメン。

② 神のご品性のすばらしさの故に

ローマ 15:9 主よ、栄光をわれらにではなく、われらにではなく、あなたのいつくしみと、まこととのゆえに、ただ、み名にのみ帰してください。

詩篇 89:14 義と公平はあなたのみくらの基、いつくしみと、まことはあなたの前に行きます。

...主よ、彼らはみ顔の光のなかを歩み、ひねもす、み名によって喜び、あなたの義をほめたたえます。あなたは彼らの力の栄光だからです。われらの角はあなたの恵みによって高くあげられるでしょう。

詩篇 117 もろもろの国よ、主をほめたたえよ。もろもろの民よ、主をたたえまつれ。われらに賜わるそのいつくしみは大きいからである。主のまことはとこしえに絶えることがない。主をほめたたえよ。

詩篇 99:9 われらの神、主をあがめ、その聖なる山で拝みまつれ。われらの神、主は聖でいらせられるからである。

黙示録 15:4 われらの神、主をあがめ、その聖なる山で拝みまつれ。われらの神、主は聖でいらせられるからである。(詩篇 99:9)

II. どのように神に栄光を帰すか。

① 人間にほまれを帰してはならない。

エレミヤ 9:23, 24 主はこう言われる、「知恵ある人はその知恵を誇ってはならない。力ある人はその力を誇ってはならない。富める者はその富を誇ってはならない。誇る者はこれを誇とせよ。すなわち、さとくあって、わたしを知っていること、わたしが主であって、地に、いつくしみと公平と正義を行っている者であることを知ることが それである。わたしはこれらの事を喜ぶと、主は言われる」。

② 礼拝の態度:

詩篇 22:23 主を恐れる者よ、主をほめたたえよ。ヤコブのもろもろのすえよ、主をあがめよ。イスラエルのもろもろのすえよ、主をおじおそれよ。

詩篇 34:3 わたしと共に主をあがめよ、われらは共にみ名をほめたたえよう。詩篇 117。

エペソ 5:19 詩とさんびと霊の歌とをもって語り合い、主にむかって心からさんびの歌をうたいなさい。

詩篇 69:30 わたしは歌をもって神の名をほめたたえ、感謝をもって神をあがめます。

詩篇 95:2 われらは感謝をもって、み前に行き、主にむかい、さんびの歌をもって、喜ばしい

声をあげよう。

ピリピ 4:6 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。

ルカ 17:12-19 そのうち(10人のらい病)のひとり、自分がいやされたことを知り、大声で神をほめたたえながら帰ってきて、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。これはサマリア人であった。18 神に栄光を帰すために帰って来た者は、この他国人の他は見出されないのか」(弥永訳、欽定訳)

Ev 630.4 人は誰をもたててはならない;誰にもへつらってはならない;だれにも賞賛されたり、へつらわれることを許してはならない。サタンはそんなことを十分している。器から目を離し、イエスを考えなさい。主を賛美しなさい。神に栄光を帰しなさい。あなたの心の中にメロディーを奏でなさい。真理を語りなさい。クリスチャンの希望を語りなさい。クリスチャンの天国を語りなさい。

未信者よりも SDA 信者が一番むずかしい患者、感謝がない。

I3T 180 I was shown that the nine who did not return to give glory to God correctly represent some Sabbathkeepers who come to the Health Institute as patients. They receive much attention and should realize the anxiety and discouragements of the physicians, and should be the last to cause them unnecessary care and burdens. Yet I regret to say that frequently the patients who are most difficult to manage at the Health Institute are those of our faith. They are more free to make complaints than are any other class. Worldlings, and professed Christians of other denominations, appreciate the efforts made for their recovery more than many Sabbathkeepers do. And when they return to their homes they exert an influence more in favor of the Health Institute than do Sabbathkeepers. And some of those who are so free to question, and to complain of the management at the Institute, are those who have been treated at reduced prices.

ミニストリー-228 感謝と賛美の精神ほど心身の健康を増進するものはない。憂鬱、不満な気持や思想に抵抗することは祈ることと同じように積極的な義務である。もしわたしたちが天に向かって歩いて行っているなら、わたしたちの父の家に行く道すがらをどうして会葬者の一隊のように嘆き、つぶやきながら歩いたりできよう。

試練、苦しみ、ガンは恐怖？

③ 供え物、献金、聖なる服装

歴上 16:12 そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えて主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拝め。

④ 惜しみなく施す

2 コリント 9:13、この援助を行った結果として、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であることや、彼らにも、すべての人にも、惜しみなく施しをしていることがわかってきて、彼らは神に栄光を帰し、

⑤ 健康改革

1 コリント 10:31 だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。

1 コリント 6:19 あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。

6:20 あなたがたは、代価を払って買われたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。

ミニストリー-247 人は神の宮、神の栄光のあらわれる住み家とならなくてはならないとの知識が、わたしたちの体力を守り、またそれを発育させていくうえに最高の動機とならなければならない。創造主はおそるべく、くすしく人間の身体を造られており、わたしたちがそれを研究し、その必要なものを理解し、これを危害や汚辱から守るために自分の責任を果たすように命じられている。

⑥ 信仰によって神の約束を信じる

ローマ 4:18-22 アブラハム：すなわち、およそ百歳となって、彼自身のからだが生んだ状態であり、また、サラの胎が不妊であることを認めながらも、なお彼の信仰は弱らなかつた。彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、神はその約束されたことを、また成就することができると確信した。だから、彼は義と認められたのである。

出エジプト 15:26 言われた、「あなたが、もしあなたの神、主の声によく聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であつて、あなたをいやすものである」。

詩篇 103:1-3 わがたましいよ、主をほめよ。わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ。わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを墓からあがないだし、いつくしみと、あわれみとをあなたにこうむらせ、あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたを飽き足らせられる。こうしてあなたは若返つて、わしのように新たになる。

⑦ 善行によって神に栄光を帰す

FW111, 3SM 147 良き行いがだれも魂を救うことはないが、良き行いなしに誰も救われることはない。

マタイ 5:16:16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたをたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

イザヤ 58:6-11 わたしが選ぶところの断食は、悪のなわをほどき、くびきのひもを解き、しえたげられる者を放ち去らせ、すべてのくびきを折るなどの事ではないか。また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これを着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。そうすれば、あなたの光が暁のようであらわれ出て、あなたは、すみやかにいやされ、あなたの義はあなたの前に行き、主の栄光はあなたのしんがりとなる。また、あなたが呼ぶとき、主は答えられ、あなたが叫ぶとき、『わたしはここにおる』と言われる。もし、あなたの中からくびきを除き、指をさすこと、悪い事を語ることを除き、飢えた者にあなたのパンを施し、苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、あなたの光は暗きに輝き、あなたのやみは真昼のようになる。主は常にあなたを導き、良き物をもってあなたの願いを満ち足らせ、あなたの骨を強くされる。あなたは潤った園のように、水の絶えない泉のようになる。

例話：エディー婦人とホームレス

⑧ 死に方によって神の栄光を表す

ヨハネ 21:19 これは、ペテロがどんな死に方で、神の栄光をあらわすかを示すために、お話しになったのである。こう話してから、「わたしに従ってきなさい」と言われた。

3 希望 86、87 「わたしはこのために、この時に至つたのです。父よ、み名があがめられますように」(ヨハネ一ノ二七)。キリストの死によってのみ、サタンの王国は打ち倒されるのである。そうすることによってのみ、人があがなわれ、神はあがめられるのである。イエスは苦悩に同意され、犠牲を受け入れられた。天の大君イエスが罪を負う者として苦難を受けることに同意された。「父よ、み名があがめられますように」と、イエスは言われた(ヨハネ一ノ二八)。キリストがこれらのことばを語られると、頭上にただよっていた雲の中から、「わたしはすでに栄光をあらわした。そして、更にそれをあらわすであろう」という応答があった(ヨハネ一ノ二八)。キリストの全生涯は、かいはおけの時からこのことばが語られた時まで、神の栄光をあらわしていた。そしてきたるべき試練に、神および人としてのキリストの苦難によって、実に天父のみ名があがめられるのであつた。